

福井県公安委員会 開催概要

平成22年5月21日開催「定例公安委員会」



会議状況

1 個別決裁

(1) 定期監査結果に基づく措置の報告

平成22年3月16日付けで福井県監査委員より報告のあった定期監査結果に基づく措置結果報告について、原案のとおり決裁した。

(2) 交通事故に係る知事専決処分

平成22年1月に発生した警察職員による交通事故について、地方自治法等の法令に基づき、知事専決処分の手続きを経て和解を図る方針である旨の報告があり、これを了承した。

(3) 交通事故に係る知事専決処分

平成22年2月に発生した警察職員による交通事故について、地方自治法等の法令に基づき、知事専決処分の手続きを経て和解を図る方針である旨の報告があり、これを了承した。

(4) 留置施設視察委員会委員の任命

平成22年5月31日付けで任期満了となる福井県留置施設視察委員会委員の任命について、警察本部長から推薦のあった委員候補者を審査し、新規任命予定者及び同意を得た委員の再任を決定した。

(5) 集団行動に関する許可事務専決状況報告

平成22年4月中の集団行動に関する許可事務の専決状況の報告を受け、これを了承した。

(6) 警察職員等の援助要求

2010年APECエネルギー大臣会合警備に伴う特別派遣について、関係都府県への警察職員等の援助要求を原案のとおり決裁した。

2 包括的案件

〈報告事項〉

(1) 振り込め詐欺グループの幹部検挙

県警察から、一昨年、県内で連続に発生した振り込め詐欺事件につき詐欺グループの幹部を本年5月11日に逮捕した旨の報告があり、事案概要及び逮捕の経緯等について説明があった。

委員から「偽名を使って携帯電話を購入することは犯罪にならないのか。」旨の質問があり、県警察から法律で禁止されている旨の説明があった。

委員から「犯罪収益が総額30億円にも上る振り込め詐欺グループの幹部を検挙し、同グループを壊滅状態に追い込んだことは、県民に対して安心安全を大きくア

ピールできたと思う。振り込め詐欺は県民の身近で発生する事件なので、今後も徹底した検挙をお願いしたい。」旨の発言があった。

(2) 平成21年度における駐在所整備結果

県警察から、平成21年度における駐在所の整備結果について報告があり、あわら警察署本荘駐在所、鯖江警察署織田駐在所、小浜警察署坂本駐在所及び越前警察署松ヶ谷駐在所の施設の概要について説明があるとともに、平成22年度の駐在所整備計画等について説明があった。

委員から、県内の駐在所数について質問があり、県警察から「96か所である。」旨の説明があった。

委員から「駐在所で勤務する年数は平均してどれくらいか。」との質問があり、県警察から「地域住民の強い要望があるときなどは10年以上勤務するケースもあるが、通常は3年から5年である。」旨の説明があった。

委員から「農村地域では駐在所が治安のよりどころであるので、地域住民と親密な関係が保てるよう、駐在所施設の整備に向けて公安委員会としても努力したい。」旨の発言があった。

(3) 平成21年度非行防止教室の実施結果

県警察から、平成21年度中の非行防止教室の実施結果について報告があり、非行防止教室の実施概要（主たる実施対象学年、テーマ、授業方法）、実施結果及び当面の課題と今後の方向性について説明があった。

委員から「現在、少年警察補導員は何人いるのか。」との質問があり、県警察から「現在15人（男性1人女性14人）の少年警察補導員がおり、本部少年課のほか、少年事件等の取り扱いの多い警察署に配置している。」旨の説明があった。

委員から、小中高で非行防止教室が100%開催できない理由について確認があり、県警察から「日程的に学校側と調整がつかない。」旨の説明があった。

委員から「非行防止教室の成果をアピールして、授業のカリキュラムに非行防止教室を取り入れてもらえるよう学校側をお願いすることも大切であると思う。」旨の意見があった。

委員から「少年補導員の体制が弱い中で大変ではあるが、小中学生の学力と同様に非行少年の割合の低さでも全国トップクラスになるよう、非行防止教室の継続強化をお願いしたい。」旨の発言があった。

(4) 高齢者交通安全リーダーの活動

県警察から、高齢者交通安全リーダーの昨年、一昨年における活動について報告があり、高齢者交通安全リーダー制度の設置目的、概要、活動状況及び活動活性化方策等について説明があった。

委員から、平成22年度の活動予算の使途について確認があり、県警察から「新規に委嘱されたリーダーへのジャンパーや光る毛糸の購入等である。」旨の説明があった。

委員から「高齢者交通安全リーダーに対して警察からの指導事項はどのように伝

えているのか。」との質問があり、県警察から「リーダーに対する活動上のアドバイスや要請事項等については、警察署単位で行われている研修会で周知している。」旨の説明があった。

委員から、「60歳以上の高齢者がボランティアで交通安全活動に従事していただくことは大変有難いことである。交通安全活動中に交通事故等に遭わないように警察からしっかり指導していただきたい。」旨の発言があった。

(5) 福井・石川合同警備実施訓練

平成22年5月17日に福井県警察学校で実施した福井・石川両県警察の合同警備実施訓練について報告があり、訓練の目的、実施規模及び訓練の想定等について説明があった。

委員から、「当日、私も訓練を視察したが、本番を見据えた実戦的な訓練であり、効果が期待できる内容であったと思う。APECエネルギー大臣会議は、梅雨時期の開催でもあり、気温と湿度が高いことが予想されるので健康管理と救急体制の確立にも配意願いたい。」旨の発言があった。

3 運転免許の処分関係

本日（5月21日）実施した道路交通法違反に関する意見の聴取9件の実施結果と処分内容に関する説明を受け、原案のとおりこれを決定した。